

キイトルーダ®とレンビマ®の  
併用治療を受けられる患者さんへ

EC

DIARY  
&  
MEMO

# 再発した子宮体がんで、 キイトルーダ®とレンビマ®の併用治療を 受けられる患者さんへ

## キイトルーダ®とレンビマ®の併用治療日誌

監修：九州大学大学院医学研究院 生殖病態生理学 教授 加藤 聖子 先生



# もくじ

● 子宮体がんについて	5
● 子宮体がんの転移と再発	6
● キイトルーダ <sup>®</sup> とレンビマ <sup>®</sup> の働きについて	8
● キイトルーダ <sup>®</sup> とレンビマ <sup>®</sup> の併用治療の前に	10
● キイトルーダ <sup>®</sup> とレンビマ <sup>®</sup> の併用治療について	12
● キイトルーダ <sup>®</sup> とレンビマ <sup>®</sup> の併用治療の注意点	16
● キイトルーダ <sup>®</sup> の特に注意すべき副作用	18
● レンビマ <sup>®</sup> の特に注意すべき副作用	19
● 体調がすぐれないと感じたとき	20
● 治療日記	24
● 治療メモ	42
● 連絡先メモ	47

近年、新しい薬剤や治療法などが開発され、がん治療はめざましく進展し、治療効果も向上しています。キイトルーダ<sup>®</sup>とレンビマ<sup>®</sup>の併用治療は、異なる作用でがんを攻撃するため、双方の治療効果が期待できます。

キイトルーダ<sup>®</sup>とレンビマ<sup>®</sup>の併用治療のよりよい効果を得るためには、安全性に留意しながら治療継続につなげることが大切です。そのためには、起こる可能性のある副作用を正しく理解しておくことが、とても大切です。

この冊子では、キイトルーダ<sup>®</sup>とレンビマ<sup>®</sup>の併用治療を受けられる方に安心して治療に臨んでいただくため、それぞれの治療スケジュール、また、副作用や治療中の生活で注意していただきたいことを紹介しています。

加えて、あなたの体調を担当の医師や看護師、薬剤師をはじめとする治療チームに理解してもらうことも大切です。あなたが普段の体調を把握するための「治療日記」と治療チームに伝えたいことや質問したいことを書き留めておく「治療メモ」を掲載していますので、よりよい治療のために、ぜひお役立てください。

**キイトルーダ<sup>®</sup>とレンビマ<sup>®</sup>の併用治療について、  
疑問点や、さらに詳しく知りたいことなどがありましたら、  
担当の医師や看護師、薬剤師にご相談ください。**

監修：九州大学大学院医学研究院 生殖病態生理学 教授 **加藤 聖子** 先生

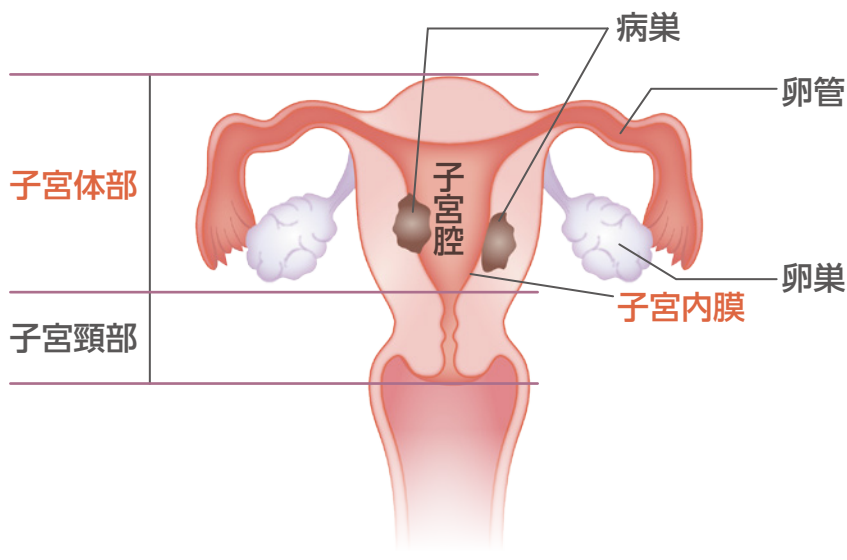


# 子宮体がんについて

## ● 子宮体がんとは<sup>1)</sup>

子宮は、入口部分の「子宮頸部(しきゅうけいぶ)」とその奥の「子宮体部(しきゅうたいぶ)」に分けられます。このうち、子宮体部にできるがんが「子宮体(しきゅうたい)がん」です。子宮内膜の細胞で発生することから、「子宮内膜(しきゅうないまく)がん」と呼ばれることもあります。

### 子宮体がんの発生部位



1) 日本婦人科腫瘍学会 編. 患者さんとご家族のための子宮頸がん 子宮体がん 卵巣がん 治療ガイドライン第2版. 金原出版, p74-75, 2016.

# 子宮体がんの転移と再発

## ● 転移と再発とは

### ● 転移<sup>1,2)</sup>

転移とは、リンパ液や血液の流れによってがん細胞がほかの臓器に運ばれ、そこで増えた状態をいいます。治療の後に、ほかの臓器にがん細胞が転移することもあります。

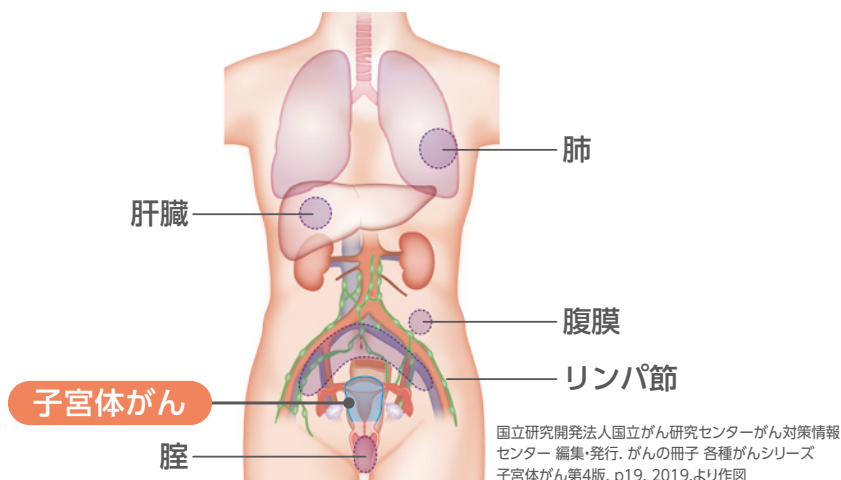
子宮体がんでは、卵巣・卵管・リンパ節にがんが広がることが多く、腔、腹膜、肺などにも転移することもあります（部位については5、6 ページをご参照ください）。

### ● 再発<sup>2)</sup>

治療により、目で見える大きさのがんがなくなった後も、再びがんが出現することを再発といいます。

子宮体がんでは、子宮や腔などの骨盤内で起こる局所での再発のほか、肺や肝臓といった局所外で再発する可能性があります。

## 子宮体がん転移・再発が起こりやすい場所（卵巣・卵管以外）



1) 八重樫 伸生 他. 日本産科婦人科学会雑誌 2021; 73(6): 657-663.

2) 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター 編集・発行。がんの冊子 各種がんシリーズ 子宮体がん第4版。p19, 2019.

## ● 転移・再発後の治療

がんが転移・再発した場合、手術療法や放射線治療、薬物療法を行う場合があります。治療法は、患者さんの状態や症状、病巣の広がりや再発した時期、これまでの治療法などを踏まえ、総合的に決めていきます<sup>1)</sup>。

薬物療法の中には、免疫チェックポイント阻害薬と分子標的治療薬の併用治療という選択肢があります(詳しくは8-9ページをご参照ください)。

## ● 緩和ケア<sup>2)</sup>

がんの療養中は、痛みや吐き気、食欲低下、息苦しさ、だるさといった体の不調、さらには、精神的なふさぎこみなど、心の問題にも直面します。そばにいる家族もまた、心配や悲しみ、生活不安などにとらわれることがあります。緩和ケアでは、患者さんとその家族が自分らしく生活できるよう、医療的な面からだけでなく心理社会的な面からも支え、QOL(生活の質)を改善します。さらに、スピリチュアルな苦痛(生きることの意味やよりどころを喪失する苦しみなど)についてもケアが必要な場合もあります。がんが進行してからだけでなく、早い時期から緩和ケアを利用することで、療養生活のつらさを和らげ、改善していくとよいでしょう。

詳しくは担当の医師や看護師、病院の地域医療連携室などに相談してください。

1) 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター 編集・発行。がんの冊子 各種がんシリーズ 子宮体がん第4版。p19, 2019.

2) 日本婦人科腫瘍学会 編。子宮体がん治療ガイドライン2018年版。金原出版。p55-57, 2018.

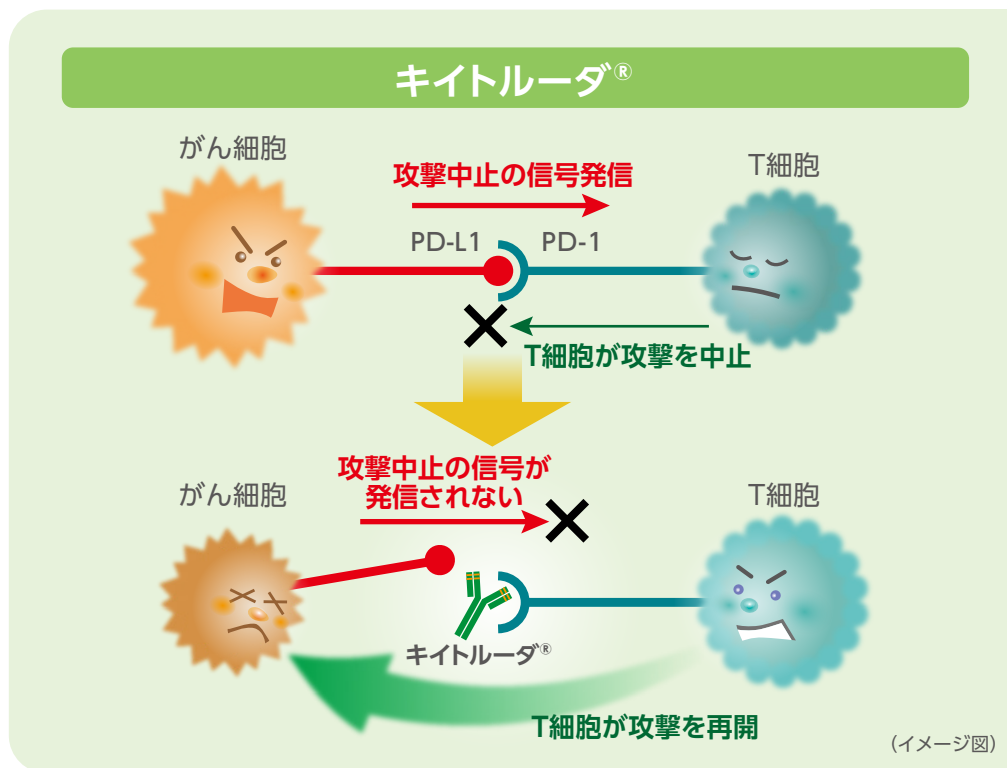
# キイトルーダ<sup>®</sup>とレンビマ<sup>®</sup>の働きについて

## ● キイトルーダ<sup>®</sup>の働き

キイトルーダ<sup>®</sup>（ペムブロリズマブ）は「抗PD-1抗体」とよばれる免疫チェックポイント阻害薬で、T細胞のPD-1に結合することにより、がん細胞からT細胞に送られているブレーキをかける信号を遮断します。その結果、T細胞が活性化され、抗がん作用が発揮されると考えられています。

## ● キイトルーダ<sup>®</sup>とレンビマ<sup>®</sup>を併用することの意義

キイトルーダ<sup>®</sup>とレンビマ<sup>®</sup>の併用治療は、2つの薬が異なる作用でがんを





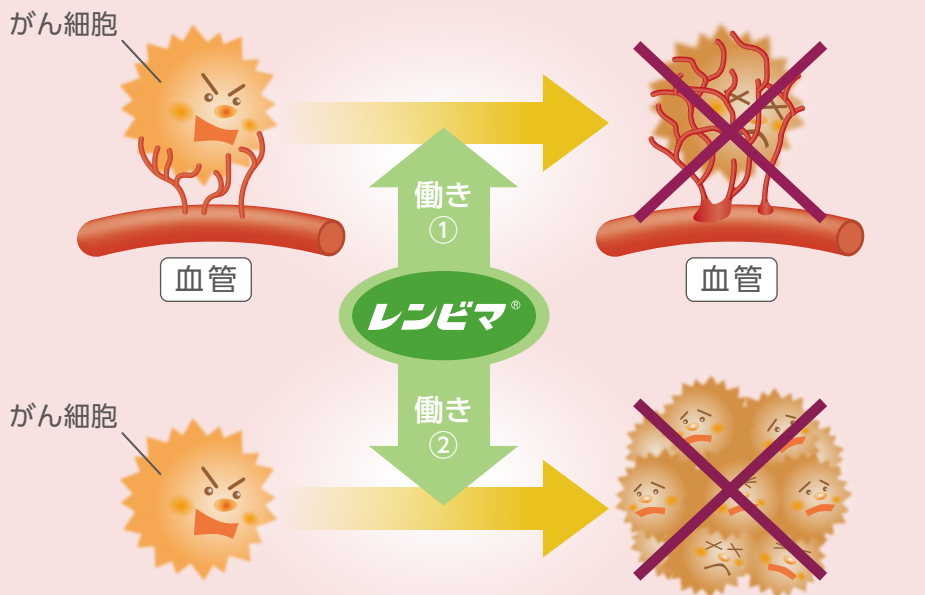
## ● レンビマ<sup>®</sup>の働き

レンビマ<sup>®</sup> (レンバチニブメシル酸塩) は「分子標的治療薬」というタイプの抗がん剤で、「血管新生※を阻害する」働きと「がん細胞の増殖を抑える」働きによりがんの進行を抑えていると考えられます。

※がん細胞の増殖には、多くの栄養が必要です。そこで、がん細胞は周りの血管から栄養を得るための新しい血管をつくり出します。これを「血管新生」といいます。

攻撃するため、双方の治療効果が期待できます。

### レンビマ<sup>®</sup>



(イメージ図)

# キイトルーダ®とレンビマ®の併用治療の前に

## ● 治療を受けることができない可能性のある方

以下の項目に該当する方は、キイトルーダ®とレンビマ®の併用治療を受けられないことがあります。

- キイトルーダ®やレンビマ®に含まれている成分と同じ成分に対して、過敏症症状を起こしたことがある方

### 過敏症症状の例

血圧の低下



意識障害



発疹



じんま疹



発熱



- 妊娠している、または妊娠している可能性がある方\*

※胎児への影響や流産が起きる可能性があります。なお、キイトルーダ®とレンビマ®の併用治療中に分かった場合は、必ず担当の医師や看護師、薬剤師にお伝えください。

キイトルーダ®電子添文、レンビマ®電子添文より



## ● キイトルーダ®とレンビマ®の併用治療を受ける前に

治療を始める前に、以下の項目に該当する方は、必ず担当の医師や看護師、薬剤師にお伝えください。

- 薬や食べ物にアレルギーがある
- 自己免疫疾患\*に現在かかっているか、過去に自己免疫疾患にかかったことがある
- 間質性肺疾患\*\*にかかっている、または以前にかかったことがある
- 現在、使用している薬がある
- 臓器移植または造血幹細胞移植†をしたことがある
- 結核に感染している、または過去にかかったことがある
- 血圧が高い(高血圧)
- 肝臓の機能が低下している
- 脳に転移がある
- 動脈や静脈に血のかたまりがけっせんそくせんしょうできやすい、またはできたことがある(血栓塞栓症)
- 手術を受けたばかりで傷が完全に治っていない、またはこれから手術を受ける予定がある
- 頸部の動脈や静脈等にがんが浸潤している
- 胸膜直下または気管支周辺に転移がある

\* 自己免疫疾患とは、本来自己には攻撃しないはずの免疫機能が、自分自身の身体や組織を攻撃してしまうことで生じる病態です。

例：膠原病(関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎、皮膚筋炎など)、クローン病、潰瘍性大腸炎、バセドウ病、橋本病、1型糖尿病など。

\*\* 「キイトルーダ®治療ハンドブック」をご参照ください。

† 病気になった造血幹細胞(赤血球、白血球、血小板をつくり出す細胞)を健康な造血幹細胞と入れ替え、正常な血液をつくることのできるようになる治療です。

# キイトルーダ®とレンビマ®の併用治療について①

## ● 治療スケジュールについて

キイトルーダ®は、3週間または6週間間隔で静脈に点滴投与します（点滴時間は30分です）。3週間または6週間を1コースとして、患者さんの体の状態をみながら投与を繰り返していきます。

### キイトルーダ®

3週間間隔  
(200mg)



30分

1コース(3週間)

1コース(3週間)

200mg

200mg

200mg

繰り返し

または

6週間間隔  
(400mg)



30分

1コース(6週間)

400mg

400mg

繰り返し



レンビマ<sup>®</sup>は、カプセルの飲み薬で、水と一緒に20mgを1日1回服用します。

## レンビマ<sup>®</sup>

1日1回  
服用  
20mg  
(10mgカプセル2個)  
から服用を始める



毎日(1日1回)



継続

## レンビマ<sup>®</sup>の減量、休薬について

レンビマ<sup>®</sup>は、副作用の状況など、患者さんの体の状態にあわせて服用量を減らしたり(減量)、服用を休むこと(休薬)があります。

副作用により一旦休薬しても、その後、体の状態が改善すれば服用を再開することができます。



服用量の調節は医師の判断で行いますので、  
ご自身の判断で減量したり、休薬したりせず、  
必ず担当の医師の指示通りに服用してください。

※治療スケジュールは主治医の指示に従ってください。

# キイトルーダ<sup>®</sup>とレンビマ<sup>®</sup>の併用治療について②

## ● キイトルーダ<sup>®</sup>点滴中の注意点 (点滴中に起こる可能性のある副作用)

点滴中や点滴直後にアレルギーのような症状があらわれる「**点滴時の過敏症反応 (infusion reaction)**」インフュージョン リアクションが起こることがあります。

点滴中あるいは点滴後に下記のような症状があらわれた場合には、担当の医師または看護師、薬剤師に連絡してください。

- 皮膚のかゆみ
- じんま疹
- 声がかすれる
- くしゃみが出る
- 喉のかゆみ
- 息苦しい
- 胸がドキドキする
- 意識がうすれる
- めまい・ふらつき
- 血圧の低下

※点滴終了後、1～2時間後に症状があらわれる場合があるので注意してください。



# MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.



# キイトルーダ®とレンビマ®の併用治療の注意点

キイトルーダ®とレンビマ®の併用治療では、下記のような場合に注意が必要です。

## ● 治療を始める前

キイトルーダ®とレンビマ®の併用治療を始める前に、他の医療機関で治療を行っている疾患や服用している薬があれば、あらかじめ主治医に伝えておきましょう。

## ● 治療中、他の医療機関を受診する場合

治療を始めてから、他の医療機関を受診する場合には、あなたがキイトルーダ®とレンビマ®の併用治療を受けている主治医に相談しましょう。なお、相談し忘れてしまった場合でも、きちんと報告することが大切です。

また、他の医療機関を受診したら、受診先の医療スタッフにもキイトルーダ®とレンビマ®の併用治療を受けていることを知らせてください。

他の診療科や医療機関を受診します

キイトルーダ®とレンビマ®の併用治療を受けています



あなたがキイトルーダ®とレンビマ®の併用治療を受けている  
診療科・医療機関



その他の  
診療科・医療機関



## ● 治療中、いつもと違う症状に気づいた場合

治療中、副作用にいち早く気づき、対処することはとても大切です。いつもと違う症状に気づいたら、すぐに主治医にご相談ください。

キイトルーダ<sup>®</sup>連絡携帯カードを財布などに入れて常に持ち歩くとよいでしょう。

キイトルーダ<sup>®</sup>による治療中  
又は、治療経験のある患者さんへ

- ・他の医療機関や診療科を受診する時には、診察を受ける医師または薬剤師に必ずこのカードを見せてください。
- ・使用している薬があれば、すべての薬を医師または薬剤師にお伝えください。

このカードは、常に持ち歩くようにしましょう

こちらの患者さんはキイトルーダ<sup>®</sup>による治療中又は、治療経験があります。

氏名	tel ( )
医療機関名	tel ( )
担当医師	科名
● 治療期間	年 月 日 ~ 年 月 日
● 投与期間	<input type="checkbox"/> 3週間間隔 <input type="checkbox"/> 6週間間隔

MSD ※本カードは患者さんにお返しください。



# キイトルーダ®の特に注意すべき副作用

キイトルーダ®は、がん細胞によって抑えられていた免疫機能を再び活性化させるため、免疫がはたらき過ぎることによる副作用があらわれる可能性があります。

症状のあらわれ方には個人差があり、発見が遅れると重症化することや継続的な治療が必要となる場合があります。あらかじめ副作用の種類や症状を知っておくことは、副作用の早期発見と対処につながります。

安心して治療を続けていくためにも、次に挙げるキイトルーダ®の注意すべき副作用と症状をしっかりと確認しておきましょう。

## キイトルーダ®の注意すべき副作用

- 間質性肺疾患
- 大腸炎・小腸炎・重度の下痢
- 重度の皮膚障害
- 神経障害
  - ギラン・バレー症候群等
- 劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎・硬化性胆管炎
- 内分泌障害
  - 甲状腺機能障害
  - 下垂体機能障害
  - 副腎機能障害
- 1型糖尿病
- 腎機能障害
- 脾炎
- 筋炎・横紋筋融解症
- 重症筋無力症
- 心筋炎
- 脳炎・髄膜炎
- 重篤な血液障害
  - 免疫性血小板減少性紫斑病
  - 溶血性貧血
  - 赤芽球癆
  - 無顆粒球症
- 重度の胃炎
- ぶどう膜炎
- 血球貪食症候群
- 結核
- 点滴時の過敏症反応  
インフュージョンリアクション  
(infusion reaction)



キイトルーダ®適正使用ガイドより作成

# レンビマ®の特に注意すべき副作用

気になる副作用があれば、担当の医師や看護師、薬剤師にご相談ください。

- 高血圧
- 出血
- 動脈血栓塞栓症
- 静脈血栓塞栓症
- 肝障害
- 急性胆嚢炎
- 腎障害
- 消化管穿孔、瘻孔形成、気胸  
せんこう ろうこう
- 可逆性後白質脳症症候群  
かぎやくせいこうはくしつのおしよ
- 心障害
- 手足症候群
- 感染症
- 骨髄抑制
- 低カルシウム血症  
そしようちゅちえん
- 創傷治癒遅延
- 間質性肺疾患
- 甲状腺機能低下



レンビマ®電子添文より

# 体調がすぐれないと感じたとき①

がんの治療中は、がんそのものの影響や、薬の副作用などによって、体の不調を感じることがあります。つらい症状に適切に対処することは、治療を続けるために大切なことです。下記に日常生活のポイントを紹介します。

## ● 吐き気や食欲がないとき

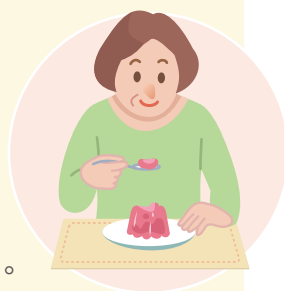
食事や水分がとれないと、脱水になりやすいので注意が必要です。

▶ こまめに水分をとるようにしましょう。

▶ 体力を落とさないためにも、食べられる物や好きな物から少しずつ食べるようにしましょう。

▶ 吐き気が強いときは、刺激やにおいの強いものを避けましょう。

▶ 胃への負担の少ない食べ物（おかゆや柔らかくゆでた麺など）や、冷たくて口当たりのよい、飲み込みやすいもの（アイスクリーム、ゼリーなど）などもよいでしょう。



## ● 疲れやだるさを感じるとき

治療中には、薬の副作用以外にも、不安やストレスなどの影響によって、疲れやだるさを感じることもあります。

▶ 規則正しい生活を心がけ、活動と睡眠の時間をバランスよくとりましょう。

▶ 自分が楽しいと感じる  
運動や趣味等を適度に取り入れ  
気分の転換をはかってみてはどうでしょうか。

▶ 一日ゆっくり休むなど、  
体調に合わせて過ごしてみましょう。



# 体調がすぐれないと感じたとき②

## ● 血圧が高いとき

高血圧は、キイトルーダ<sup>®</sup>、レンビマ<sup>®</sup>を投与した日本人の患者さんの約8割<sup>\*</sup>にあらわれることが報告されていますが、血圧を下げるお薬を服用したり、レンビマ<sup>®</sup>を減量または休薬することで、治療を続けられる可能性があります。

※キイトルーダ<sup>®</sup>、レンビマ<sup>®</sup>併用治療の臨床試験(承認時評価資料:がん化学療法後に増悪した進行・再発の子宮体癌患者を対象とした臨床第Ⅲ相試験(国際共同KEYNOTE-775/309試験)の日本人患者における高血圧の発現頻度です。

▶ 血圧は毎日測定しましょう。

▶ 急に血圧が上昇(最高血圧が180mmHgまたは最低血圧が120mmHg以上)し、意識がもうろうとしたり、頭痛、めまい、吐き気などがある場合は、すぐにレンビマ<sup>®</sup>の服用を止め、医療機関にすぐに連絡してください。

参考:日本高血圧学会:高血圧治療ガイドライン2019. ライフサイエンス出版. p168-169

▶ 最高血圧が140mmHg(家庭血圧では135mmHg)以上または最低血圧が90mmHg(家庭血圧では85mmHg)以上の場合には、担当の医師や看護師、薬剤師に連絡してください。





キイトルーダ®による治療で、特に注意すべき副作用と症状については「キイトルーダ®治療ハンドブック」や各薬剤の解説冊子などでもう一度確認し、気になる症状が出たら、速やかに医師に連絡しましょう。

# 治療日記・記入方法

## 記入例

1 ~ 3 週	日付(月/日)	第1週目						
		5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8
1 ~ 3 週	キイトルーダ®点滴	○						
	レンビマ®服用(mg)*	20	20	20	20	20	20	20
	診察	○						
4 ~ 6 週	体温(°C)	36.7	37.3	37.5	37.3	36.8	36.5	36.5
	体重(kg)	65.0						
	血压値:測定時間	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30
	最高	130	131	130	129	130	128	127
7 ~ 9 週	最低	79	75	77	77	78	67	75
	血压値:測定時間	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30
	最高	115	117	115	116	115	117	117
	最低	65	65	60	66	67	65	65
10 ~ 12 週	頭痛							
	意識がうすれる							
13 ~ 15 週	見え方の異常							
	まぶたが重い							
16 ~ 18 週	口の中や喉が渴きやすい							
	歯ぐきや口内の出血							
	口内炎							
	声のかすれ							
19 ~ 21 週	咳							
	たん、血たん							
	吐き気やおう吐							
22 ~ 24 週	胸部	息切れ、呼吸困難、胸の痛み						
	腹部	食欲低下						
25 ~ 27 週	下痢(回)			○				
	腹痛							
28 ~ 30 週	便秘							
	尿量の減少、トイレが近い、血尿							
31 ~ 33 週	尿の泡立ち							
	手足に力が入らない、手指のふるえ							
34 ~ 36 週	手のひらや足の裏の痛みや腫れ							
	しびれ							
37 ~ 39 週	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ							
	皮膚が黄色くなる							
40 ~ 42 週	むくみ							
	疲れやすい・だるい			○	○			
43 ~ 45 週	けいれん							
	その他、気になる体調の変化	(5/4)微熱があり、解熱剤を飲んだ。						

体温はしっかり記録しましょう  
毎日なるべく同じ時間にはかるようにしましょう

血压は毎日できるだけ  
同じ時間にはかりましょう

\*レンビマ®の服用量の変更や休薬を医師より指示された場合は、その日の枠内に用量を記載しましょう。



レンビマ®の服用量の変更や休薬を医師より指示された場合は、その日の枠内に用量を記載しましょう

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

第2週目							第3週目						
5/9	5/10	5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/18	5/19	5/20	5/21	5/22
20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

36.7	36.8	36.4	36.5	36.8	36.5	36.5	36.7	36.4	36.5	36.4	36.5	36.7	36.6
65.0							64.5						
7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30
132	130	130	131	129	128	130	128	127	127	129	130	127	130
72	77	78	78	75	72	76	76	77	75	78	79	74	78
21:30	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30
118	115	117	114	115	117	116	116	118	115	115	117	115	118
68	72	65	64	65	65	67	62	67	65	62	66	66	68

体重は定期的にはかりましょう

	○												
										○			
								○					
												○	
		○	○	○								○	
						3		2					
	○												
	○							○					
	○	○						○					

気になる症状や疑問点などがあれば書いておきましょう

(5/11)手足がつかめなく、寒気がする○  
 (5/12)息切れが強くなってきたので、先生に相談した○

(5/17)足や手がだるく、むくみがある○

気になる体調の変化があらわれた場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連絡ください。

1  
〜  
3  
週4  
〜  
6  
週7  
〜  
9  
週10  
〜  
12  
週13  
〜  
15  
週16  
〜  
18  
週19  
〜  
21  
週22  
〜  
24  
週

日付(月/日)		第1週目						
		/	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ®点滴								
レンビマ®服用(mg)*								
診察								
体温(°C)								
体重(kg)								
血圧値:測定時間								
最高								
最低								
血圧値:測定時間								
最高								
最低								
頭部	頭痛 意識がうすれる							
眼	見え方の異常 まぶたが重い							
口や喉	口の中や喉が渇きやすい							
	歯ぐきや口内の出血							
	口内炎							
	声のかすれ							
胸部	咳							
	たん、血たん							
	吐き気やおう吐							
腹部	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
便	食欲低下							
	腹痛							
尿	下痢(回)							
	ネバネバした便や血便 便秘							
手・足	尿量の減少、トイレが近い、血尿							
	尿の泡立ち							
皮膚	手足に力が入らない、手指のふるえ							
	手のひらや足の裏の痛みや腫れ しびれ							
全身	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ							
	皮膚が黄色くなる							
その他	むくみ							
	疲れやすい・だるい けいれん							
そのほか、気になる体調の変化								

\*レンビマ®の服用量の変更や休薬を医師より指示された場合は、その日の枠内に用量を記載しましょう。

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

第2週目

第3週目

第2週目							第3週目						
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

1  
~  
3  
週4  
~  
6  
週7  
~  
9  
週10  
~  
12  
週13  
~  
15  
週16  
~  
18  
週19  
~  
21  
週22  
~  
24  
週

日付(月/日)	第4週目						
	/	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ®点滴							
レンビマ®服用(mg)*							
診察							

体温(°C)							
体重(kg)							
血圧値:測定時間							
最高							
最低							
血圧値:測定時間							
最高							
最低							

頭部	頭痛 意識がうすれる						
眼	見え方の異常 まぶたが重い						
口や喉	口の中や喉が渇きやすい						
	歯ぐきや口内の出血						
	口内炎						
	声のかすれ						
胸部	咳						
	たん、血たん						
	吐き気やおう吐						
腹部	息切れ、呼吸困難、胸の痛み						
便	食欲低下						
	腹痛						
尿	下痢(回)						
	ネバネバした便や血便 便秘						
手・足	尿量の減少、トイレが近い、血尿						
	尿の泡立ち						
皮膚	手足に力が入らない、手指のふるえ						
	手のひらや足の裏の痛みや腫れ しびれ						
全身	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ						
	皮膚が黄色くなる						
その他	むくみ						
	疲れやすい・だるい けいれん						
そのほか、気になる体調の変化							

\*レンビマ®の服用量の変更や休薬を医師より指示された場合は、その日の枠内に用量を記載しましょう。

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

第5週目							第6週目						
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/



1  
~  
3  
週4  
~  
6  
週7  
~  
9  
週10  
~  
12  
週13  
~  
15  
週16  
~  
18  
週19  
~  
21  
週22  
~  
24  
週

日付(月/日)		第7週目						
		/	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ®点滴								
レンビマ®服用(mg)*								
診察								
体温(°C)								
体重(kg)								
血圧値:測定時間								
最高								
最低								
血圧値:測定時間								
最高								
最低								
頭部	頭痛 意識がうすれる							
眼	見え方の異常 まぶたが重い							
口や喉	口の中や喉が渴きやすい							
	歯ぐきや口内の出血							
	口内炎							
	声のかすれ							
胸部	咳							
	たん、血たん							
	吐き気やおう吐							
腹部	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
便	食欲低下							
	腹痛							
尿	下痢(回)							
	ネバネバした便や血便 便秘							
手・足	尿量の減少、トイレが近い、血尿							
	尿の泡立ち							
皮膚	手足に力が入らない、手指のふるえ							
	手のひらや足の裏の痛みや腫れ しびれ							
全身	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ							
	皮膚が黄色くなる							
その他	むくみ							
	疲れやすい・だるい けいれん							
そのほか、気になる体調の変化								

※レンビマ®の服用量の変更や休薬を医師より指示された場合は、その日の枠内に用量を記載しましょう。

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

第8週目							第9週目						
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/



1  
〜  
3  
週4  
〜  
6  
週7  
〜  
9  
週10  
〜  
12  
週13  
〜  
15  
週16  
〜  
18  
週19  
〜  
21  
週22  
〜  
24  
週

日付(月/日)		第10週目						
		/	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ®点滴								
レンビマ®服用(mg)※								
診察								
体温(°C)								
体重(kg)								
血圧値:測定時間								
最高								
最低								
血圧値:測定時間								
最高								
最低								
頭部	頭痛 意識がうすれる							
眼	見え方の異常 まぶたが重い							
口や喉	口の中や喉が渴きやすい 歯ぐきや口内の出血							
	口内炎							
	声のかすれ							
胸部	咳							
	たん、血たん							
	吐き気やおう吐							
腹部	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
便	食欲低下							
	腹痛							
尿	下痢(回)							
	ネバネバした便や血便 便秘							
手・足	尿量の減少、トイレが近い、血尿							
	尿の泡立ち							
皮膚	手足に力が入らない、手指のふるえ							
	手のひらや足の裏の痛みや腫れ しびれ							
全身	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ							
	皮膚が黄色くなる							
その他	むくみ							
	疲れやすい・だるい けいれん							
そのほか、気になる体調の変化								

※レンビマ®の服用量の変更や休薬を医師より指示された場合は、その日の枠内に用量を記載しましょう。



無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

第11週目							第12週目						
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1  
〜  
3  
週4  
〜  
6  
週7  
〜  
9  
週10  
〜  
12  
週13  
〜  
15  
週16  
〜  
18  
週19  
〜  
21  
週22  
〜  
24  
週

日付(月/日)		第13週目						
		/	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ®点滴								
レンビマ®服用(mg)※								
診察								
体温(°C)								
体重(kg)								
血圧値:測定時間								
最高								
最低								
血圧値:測定時間								
最高								
最低								
頭部	頭痛 意識がうすれる							
眼	見え方の異常 まぶたが重い							
口や喉	口の中や喉が渴きやすい 歯ぐきや口内の出血							
	口内炎							
	声のかすれ 咳							
胸部	たん、血たん 吐き気やおう吐							
	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
腹部	食欲低下							
	腹痛							
便	下痢(回)							
	ネバネバした便や血便 便秘							
尿	尿量の減少、トイレが近い、血尿 尿の泡立ち							
手・足	手足に力が入らない、手指のふるえ 手のひらや足の裏の痛みや腫れ							
	しびれ							
皮膚	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ 皮膚が黄色くなる							
全身	むくみ							
	疲れやすい・だるい けいれん							
そのほか、気になる体調の変化								

※レンビマ®の服用量の変更や休薬を医師より指示された場合は、その日の枠内に用量を記載しましょう。

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

第14週目							第15週目						
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/



1  
〜  
3  
週4  
〜  
6  
週7  
〜  
9  
週10  
〜  
12  
週13  
〜  
15  
週16  
〜  
18  
週19  
〜  
21  
週22  
〜  
24  
週

日付(月/日)		第16週目						
		/	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ®点滴								
レンビマ®服用(mg)※								
診察								
体温(°C)								
体重(kg)								
血圧値:測定時間								
最高								
最低								
血圧値:測定時間								
最高								
最低								
頭部	頭痛 意識がうすれる							
眼	見え方の異常 まぶたが重い							
口や喉	口の中や喉が渇きやすい							
	歯ぐきや口内の出血							
	口内炎							
	声のかすれ							
胸部	咳							
	たん、血たん							
	吐き気やおう吐							
腹部	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
便	食欲低下							
	腹痛							
尿	下痢(回)							
	ネバネバした便や血便 便秘							
手・足	尿量の減少、トイレが近い、血尿							
	尿の泡立ち							
皮膚	手足に力が入らない、手指のふるえ							
	手のひらや足の裏の痛みや腫れ しびれ							
全身	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ							
	皮膚が黄色くなる							
その他	むくみ							
	疲れやすい・だるい けいれん							
そのほか、気になる体調の変化								

※レンビマ®の服用量の変更や休薬を医師より指示された場合は、その日の枠内に用量を記載しましょう。



1  
〜  
3  
週4  
〜  
6  
週7  
〜  
9  
週10  
〜  
12  
週13  
〜  
15  
週16  
〜  
18  
週19  
〜  
21  
週22  
〜  
24  
週

日付(月/日)		第19週目						
		/	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ®点滴								
レンビマ®服用(mg)※								
診察								
体温(°C)								
体重(kg)								
血圧値:測定時間								
最高								
最低								
血圧値:測定時間								
最高								
最低								
頭部	頭痛 意識がうすれる							
眼	見え方の異常 まぶたが重い							
口や喉	口の中や喉が渇きやすい							
	歯ぐきや口内の出血							
	口内炎							
	声のかすれ							
胸部	咳							
	たん、血たん							
	吐き気やおう吐							
腹部	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
便	食欲低下							
	腹痛							
尿	下痢(回)							
	ネバネバした便や血便 便秘							
手・足	尿量の減少、トイレが近い、血尿							
	尿の泡立ち							
皮膚	手足に力が入らない、手指のふるえ							
	手のひらや足の裏の痛みや腫れ しびれ							
全身	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ							
	皮膚が黄色くなる							
その他	むくみ							
	疲れやすい・だるい けいれん							
そのほか、気になる体調の変化								

※レンビマ®の服用量の変更や休薬を医師より指示された場合は、その日の枠内に用量を記載しましょう。



1  
〜  
3  
週4  
〜  
6  
週7  
〜  
9  
週10  
〜  
12  
週13  
〜  
15  
週16  
〜  
18  
週19  
〜  
21  
週22  
〜  
24  
週

日付(月/日)		第22週目						
		/	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ®点滴								
レンビマ®服用(mg)※								
診察								
体温(°C)								
体重(kg)								
血圧値:測定時間								
最高								
最低								
血圧値:測定時間								
最高								
最低								
頭部	頭痛 意識がうすれる							
眼	見え方の異常 まぶたが重い							
口や喉	口の中や喉が渇きやすい							
	歯ぐきや口内の出血							
	口内炎							
	声のかすれ							
胸部	咳							
	たん、血たん							
	吐き気やおう吐							
腹部	息切れ、呼吸困難、胸の痛み							
便	食欲低下							
	腹痛							
尿	下痢(回)							
	ネバネバした便や血便 便秘							
手・足	尿量の減少、トイレが近い、血尿							
	尿の泡立ち							
皮膚	手足に力が入らない、手指のふるえ							
	手のひらや足の裏の痛みや腫れ しびれ							
全身	発疹などの皮膚症状、くちびるのただれ							
	皮膚が黄色くなる							
その他	むくみ							
	疲れやすい・だるい けいれん							
そのほか、気になる体調の変化								

※レンビマ®の服用量の変更や休薬を医師より指示された場合は、その日の枠内に用量を記載しましょう。



無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

第23週目							第24週目						
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/



# 治療メモ

次回受診時に医師や看護師、薬剤師に質問したいことや伝えたいことをメモしておきましょう。

## 記入例

1・2・3週

5月21日(土)～ 月 日( )

質問したいこと・伝えたいこと

5月21日

吐き気が辛くて、食欲がありません。どうしたら食べられるようになりますか？

その後の経過

無理をしないようにしたら気分が楽になり、少しずつ食べられるようになってきました。

医療従事者からのアドバイスメモ

- ・つらいときは無理せず、好きなものを好きなときに少しずつ食べる
- ・こまめに水分をとる



1・2・3週

月 日( )～ 月 日( )

質問したいこと・伝えたいこと

.....  
.....  
.....

医療従事者からのアドバイスメモ

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

その後の経過

.....  
.....  
.....

4・5・6週

月 日( )～ 月 日( )

質問したいこと・伝えたいこと

.....  
.....  
.....

医療従事者からのアドバイスメモ

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

その後の経過

.....  
.....  
.....

# 治療メモ

7・8・9週

月 日( )～ 月 日( )

質問したいこと・伝えたいこと

.....  
.....  
.....

医療従事者からのアドバイスメモ

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

その後の経過

.....  
.....  
.....

10・11・12週

月 日( )～ 月 日( )

質問したいこと・伝えたいこと

.....  
.....  
.....

医療従事者からのアドバイスメモ

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

その後の経過

.....  
.....  
.....

13・14・15週

月 日( )～ 月 日( )

質問したいこと・伝えたいこと

.....  
.....  
.....

医療従事者からのアドバイスメモ

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

その後の経過

.....  
.....  
.....

16・17・18週

月 日( )～ 月 日( )

質問したいこと・伝えたいこと

.....  
.....  
.....

医療従事者からのアドバイスメモ

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

その後の経過

.....  
.....  
.....

# 治療メモ

19・20・21週

月 日( )～ 月 日( )

質問したいこと・伝えたいこと

.....  
.....  
.....

医療従事者からのアドバイスメモ

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

その後の経過

.....  
.....  
.....  
.....

22・23・24週

月 日( )～ 月 日( )

質問したいこと・伝えたいこと

.....  
.....  
.....  
.....

医療従事者からのアドバイスメモ

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

その後の経過

.....  
.....  
.....  
.....

# 連絡先メモ

● 医療機関名

.....

● 電話番号

.....

● 担当医師名

.....

● 緊急連絡先

.....

● 治療期間

年 月 日 ~ 年 月 日

# DIARY & MEMO

